

# コロナ禍におけるサンホセ日本人学校での遠隔授業の実施

前在コスタリカ日本国大使館附属サンホセ日本人学校教諭  
北海道釧路市立桜が丘小学校教諭 宝力 駿

キーワード：遠隔授業、新型コロナウイルス、ロイロノート、Google for Education、AG5

赴任校の概要 (2021年8月3日現在)

学校名・日本語：在コスタリカ日本国大使館附属サンホセ日本人学校

学校名・現地表記：escuela japonesa de San Jose

URL：<http://www.escuela.j.com/>

児童生徒数：小学部7名 中学部4名

## 1. はじめに

2018年4月。縁あって、コスタリカの在外教育施設「サンホセ日本人学校」に赴任することとなった。コスタリカは中央アメリカに位置し、ニカラグアやパナマと国境を接しており、西は太平洋、東はカリブ海に面している。非常に自然が豊かな国で、地球上の全動植物種の5%が生息するといわれ、国土の4分の1が国立公園や自然保護区である。また、軍隊を廃止し、非武装中立を宣言したことで、「中米のスイス」とも呼ばれている。

日本人学校が置かれている首都サンホセはコスタリカの中央に位置し、海拔1150mのため、赤道近くにあるにもかかわらず涼しく、非常に過ごしやすい気候である。

2020年、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい始めた。その影響はこのコスタリカにも現れた。コスタリカ政府の指示により、外出自粛、車のナンバーによる運転規制、国立公園、ビーチの閉鎖など様々な面で規制がされた。また、すべての教育施設も閉鎖となり、サンホセ日本人学校もそれにならって学校閉鎖を余儀なくされた。新年度が始まる4月から、児童生徒も職員も、誰も体験したことのない新しい教育活動を展開することとなったのである。本レポートではその対策や工夫について紹介する。

## 2. サンホセ日本人学校の取り組み

### (1) 登校・着任できない職員と連携するための対応

#### ①実態

コスタリカ政府の指示で、自家用車利用の規制が行われた。ナンバープレートの末尾の数字によって、自家用車を利用できる曜日が指定されてしまった。安全上の理由で職員は原則自動車での通勤となっていたので、この規制によって曜日によって通勤できない状況が発生した。また、空港の閉鎖によって、4月から赴任する予定だった校長が赴任できず日本で待機することとなった。それまで、職員会議等の資料は紙ベースで行っていたため、資料の共有に問題が生じた。

#### ②対応

Googleで学校のアドレスを取得し、Google Driveを利用して職員会議資料の共有を行った。また、密を避けるために、場所を職員室、教室、職員の自宅などに分散して、テレビ会議システム Zoom (Zoom Video Communications) を用いて会議を行った。

#### ③成果

学校に通勤せずとも、資料の閲覧、作成、共有ができるようになったため、自宅からのリモートワークが可能となった。その結果、密を避けながら学校の運営を行うことができた。また、遠く日本からも不自由な

く資料のやり取りや会議への参加ができた。

## (2) 子どもたちへの学びを保证するための対応

### ①実態

コスタリカ政府の指示に従ってサンホセ日本人学校も学校閉鎖を余儀なくされた。令和2年度の始業式・入学式も延期することとなった。それが翌年の1月まで続いた。その渦中、登校できない子どもたちの学びを進めるための対策を検討しなくてはならなかった。

### ②対応

テレビ会議システムZoomにて、遠隔授業を行うことにした。教師1人につき、1つのIDを取得し、一覧表を作成して家庭に配布した。サンホセ日本人学校は教科担任制なので、児童生徒は時間割を見ながら、授業開始時刻になったら授業担当教諭のミーティングルームに参加するという方法をとった。兄弟がいる家庭では同時に2回線での接続が難しいという実態があったので、1日3~4時間程度の時間割を設定し、ずらして授業を配置した。空いている時間は課題や自学学習に取り組ませることとした。

サンホセ日本人学校 5/25~29 時間割

説明： 4月27日より6時間目まで授業時間を設定し、1年生から3年生までは1日3コマ、5年生と中学生は1日4コマの授業を行っている。授業内容は、国語、算数などの主要教科中心の授業から、体育を始めとした技能教科や道徳の授業も取り入れて行っている。また一時帰国児童への授業動画を作成し配信を行っている。

5/25 (月)

	小1	小2	小3	小5	中1
7:45~7:55	全校朝の会 アニモタイム				
① 小 8:00~8:45 中 8:00~8:50	国語			国語	
② 小 9:00~9:45 中 9:00~9:50		国語 (宝力)	国語 (宝力)		体育
③ 小 10:00~10:45 中 10:00~10:50	算数	算数 (宝力)		算数	社会
④ 小 11:00~11:45 中 11:00~11:50			算数		
⑤ 小 1:00~1:45 中 1:00~1:50	国語	道徳 (宝力)		英語	国語
⑥ 小 2:00~2:45 中 2:00~2:50			図工		英語

【時間割の一部】

また、授業中のワークシートの配布や、宿題のやり取りを円滑にするために、教育支援アプリケーション「ロイロノート」(ロイロノート・スクール)を導入した。これによってカメラ機能を使ったノートの提出や、ワークシートの配布ができるようになった。

### ③成果

Zoomの利用によって学校閉鎖のさなかでも子どもたちの学びを止めることなく行うことができた。画面共有機能やチャット機能などを利用すれば板書と同じ効果が得られた。また、ロイロノートを利用してワークシートを配布し、取り組ませ、提出させることで、自分の考えをまとめ、交流し、友だちとの考えの違いについて話し合う活動もできた。児童生徒が自宅にいながらも、教室で行う授業に限りなく近い教育活動を保証することができた。

## (3) 新しい教育活動を行うにあたっての情報共有のための対応

### ①実態

遠隔で授業を行うということは我々教員にとっても未知の部分が非常に多かった。それぞれみなやりづらさや困り感を感じながらも、それを職員室で相談したり知恵を出し合ったりする機会もない。リモートワークになってしまったこともあり、教員同士が意思疎通を図る場の設定が必要であった。

### ②対応

Google スプレッドシートというアプリケーションを利用して、教員の困り感やアイデアを共有する場とし

た。作成するにあたっては、PMIQ シートというシンキングツールを導入して行った。PMIQ シートとは下記のようなものである。

項目	PLUS よい・わかったこと	MINUS 課題	INTEREST 面白い・工夫	QUESTION 疑問・問い
記述例	ロイロノートを使えば、宿題の提出もさせられます。	動画を共有しようとしたら重くなりやすいです。	スタンプ機能を使えば、簡単な意思疎通ができます。	資料を見せるのにはどうしたらよいだろうか？ →Zoom の共有機能を使うとよいです。

### ③成果

このシートに、気が付いたことや疑問などをどんどん書き込んでいくことで、困り感の解決策と一緒に考えたり、やってみてうまくいったこと、うまくいかなかったことを共有したりすることができた。INTEREST のところには、「使えるかどうかはわからないけれど、こんなこともできます」といったものを自由に書き込んだ。また、Google スプレッドシートは同時編集ができるので、例えば Excel のように、誰かが編集している間に待っている必要がない。自分のタイミングでいつでも書き込みをすることができるのである。これはリモートワークをするにあたってはとても便利であった。

## (4) 脆弱なネットワークを強化するための対応

### ①実態

学校のネットワークが脆弱で、アクセスポイントも校内に2か所しかなく、Zoom を4回線以上つなぐと動かなくなるなどの不具合が発生した。

### ②対応

- ・学校のネットワークについてのアドバイザーに来てもらい、校内の接続状況の把握や、いただいたアドバイスを参考にして中継器を置くなどの対応をした。
- ・インターネットの契約を見直し、光通信を取り入れることにした。
- ・過去の有線ネットワークの時代に利用されていた校内の有線ケーブルを整備・復旧し、各教室にある LAN ポートに無線 LAN ルーターを接続した。

### ③成果

1 教室に1つのルーターが整備され、回線も非常に強くなった。このことによって各教室から同時に複数の授業を行うこともできるようになった。

## 3. その他

### (1) 全校朝の会

毎朝、全校児童生徒と全職員が1つのミーティングルームに集まって、全校朝の会を行った。この会では朝の体操や簡単なゲーム、校長の説話などの時間をとることができた。普段、授業の中の同じ学年同士、横のつながりしか持てなかった子どもたちが、学年を越えた縦のつながりを持てる時間となった。以下にこの会で行った遠隔アイスブレイクゲームのいくつかを紹介する。

ゲーム名	ルール	遠隔ならではの工夫	注意点
たけのこニョッキ	数字の1から順番に手を上げながら自分のタイミングで〇ニョッキと叫ぶ。誰かと同時に発生してしまうか、最後の一人になったら負け	誰かが審判となってかじ取りをしないと、かぶっているのにもかかわらずどんどん進行してしまう。	接続のせいで判定が微妙になってしまうので審判がいるとよい。
ゲーム名	ルール	遠隔ならではの工夫	注意点

セブンイレブンけんげん	メンバーで指を出し、その指の数が7になれば（もしくはほかの指定の数）成功。成功したらハイタッチ。	ブレイクアウトなどを利用して少人数に分けて行い、成功回数を競わせる。合図する人、数える人と役割分担をさせる。	参加人数が増えすぎると数えるのが大変。3～4人がよい。
○×クイズ	問題や質問に対して○か×かで答える。体ひとつで行えるのがよい。	個人の情報についてを問題にするとアイスブレイクになる。終わった後で注釈してもらおうとよい。	質問の内容が分かるようにゆっくりと出題する。
Zoom で伝言板	ミュートにして仲間に伝えたいことを伝える。指での空書きやロパク、またはジェスチャーなどを使う。	チャット機能を使って出題者には問題を送るのがよい。	答えは基本的にわかったら発言だが、Zoom の性質上同時に発言されると聞き取れないことがある。
インスピレーションゲーム	お題に対して思いついたことを一斉に言う。全体の答えが一致すれば成功。紙などに答えを書いて提示させるのもよい。	人数が多いので、ブレイクアウトセッションで3チームに分けて、答えをひとつずつ決めさせた。話し合い活動にもなってよいと考える。	お題を決める際に、盛り上がる話題になるような工夫が必要。 例)あたまに「あ」のつく甘いもの
他己紹介	2人1組になって、相手にできるだけたくさん質問する。聞いたことをもとに、全体に相手のことを紹介する。	Zoom ブレイクアウトセッションで2人1組を作る。あとは、交代でどんどん質問させて、全体の場で30秒程度の紹介をさせる。	質問タイムの時間が短すぎると厳しい。2分程度がちょうどよいかも。紹介は30秒程度がよい。
となりのとなり	テーマを1つ決めて、それに関して自己紹介する。次の人は前の人の言ったことを復唱して自分の紹介をする。どんどん増えていく。	Zoom の並び替え機能を使って、発表者の順番を示してあげるとよい。回答者が困っていたらジェスチャーで支援すると盛り上がる。	接続が悪いと、聞き取れなかったりする。自己紹介の部分が聞こえない場合は、もう一度言ってもらうようお願いする。
お絵描きしりとり	ホワイトボード機能を使って、絵をかいてしりとりを続けていく。	あらかじめ描く場所をホワイトボードに指定しておいてあげるとよい。困っていたら見ている人が、ジェスチャーでヒントを出すと盛り上がる。	一人ずつだと非常に時間がかかり間延びするので、2、3チームに分けて同時にやっていくのもよい。

## (2) AG5 事業

AG5 事業とは、公益財団法人海外子女教育振興財団が文部科学省より受託した「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」のことで、高度な (Advanced) グローバル人材 (Global human resources) の育成を目的として5つの研究テーマを取り扱うこと研究のことである。(https://ag-5.jp/参照)

本校は、2019年度から3年計画でこの事業にかかわらせていただき、メキシコの「アグアスカリエンテス校」と合同で研究を進めてきた。研究の内容は主に「合同研修を行うこと」と「合同研究授業」を行うことであった。遠隔での研究が前提な事業なので、コロナ禍によって学校閉鎖となっても研究を進めることができたし、非常に価値のある経験と情報を得ることができた。詳しくは、ホームページを参照してほしい。今年度 (R3) が最終年度である。

## 4. 終わりに

サンホセ日本人学校は、翌年の1月から再開し、対面授業ができるようになった。校長も同時期に無事に赴任することができた。世界的なパンデミックという誰も経験したことのない特殊な状況になってしまったが、サンホセ日本人学校の職員が一丸となって知恵を出し合い、協力し合うことができたから、この困難な局面を乗り越えられたのだと思う。ここで得た経験と知識をこれからの日本での教員生活でも生かしていきたい。